



飯地小学校だより
令和8年度 第3号
令和8年5月28日



飯地小学校 HP

夢をもち、懸命に生きる子 ~進んで学ぶ子・思いやりのある子・元気な子~

ふるさとの味、母の味

校長 原田 三千代

ほかほか炊けたごはん、マスのたっぷり入ったすし酢、ミョウガと紅ショウガを混ぜ合わせる・・・これがわが家の定番の朴葉寿司でした。寿司桶に積まれた朴葉寿司を見ては、「え～！また朴葉寿司～？」と母に文句を言い、「食べたくなければ食べなくていい！」と叱られ・・・それがいつか、「ねえねえ、朴葉寿司まだ？」と実家の母に催促をするようになっていました。私にとっては、これを食べないと夏が始まらないメニューになっています。

実家のある下呂から舞台峠を越えると、白い酢飯の上に様々な具材が乗せられた朴葉寿司を作るお宅が多いことも、子どもながらに不思議だったことを思い出します。時々知り合いの方々から頂く様々な朴葉寿司を見ては「うちのより豪華でいいなあ！」「ツナの甘く煮てあるのを乗せると美味しい！」こんなことを思ったのもいい思い出です。

先日、五毛座で行われた「ポーランドジャズ」のコンサートに参加をさせていただきました。3つの種類のお弁当を皆さんそれぞれが美味しそうに召し上がっている様子を見ながら、私も BBQ 弁当を美味しく頂きました。一緒に参加した職員はジビエ弁当をニコニコと頬張っていました。ふと隣の方を見ると、見た目にも美しい朴葉寿司のお弁当を召し上がっていらっしゃいました。「きれいだなあ！美味しそう！」思わず笑みがこぼれました。



今年、飯地小の総合的な学習では、「飯地の食」にも注目して、様々な活動に取り組んでいます。5月28日には渡邊真奈美さん、平井はな恵さんにお手伝い頂き、みんなで朴葉寿司づくりを体験しました。この経験がいつか子どもたちのなつかしい思い出となり、「飯地の味」が受け継がれていくと素敵だなあ・・・そんなことを思いながら子どもたちの様子を眺めていました。

実際に本物に触れる、見る、体験する・・・こんなワクワクする一年がスタートしています。そして、楽しい活動をするためにも安全にも気を配る。こんな力も一緒に育つ一年にしてほしいと願っています。

飯地小学校運営協議会コーナー 「じゃがいも・里芋・こんにゃく芋・さつまいも 大きくなあれ！」

～地域ぐるみで育てたい姿『豊かな体験を通して、ふるさと飯地への愛着と誇りをもつ』～

山口 鉦一さん、柘植賢二さん、柘植良人さんにご協力いただき、畝づくりから芋の植え付けまでを無事に終えることができました。本当にありがとうございました。秋の収穫、そして収穫した芋を使っての様々な活動が、13人の子どものどんな学びや感動、笑顔につながるか、今からとても楽しみです！

